

第 4 回 伊丹市行財政審議会

議 事 録

伊丹市行財政審議会

1. 日 時 令和2年10月26日(月) 16:00～17:00
2. 場 所 市役所議会棟3階 議員総会室
3. 出席者 【委員】
上村委員、成田委員、橋本委員、松尾委員、山下委員、山田委員、和田委員
【事務局】
天野財政基盤部長、藤澤財政企画室長、池田財政企画課長、藤井経営企画課長
4. 傍聴者 0名
5. 次 第 (1) 議題
 - ① 第3回審議会の議事概要
 - ② 伊丹市行財政審議会答申書(案)について(2) 諸連絡

(開会)

- 会長 ・ 第 4 回伊丹市行財政審議会を開催する。

- 事務局 ・ 本日は議事録作成の観点から録音させていただくことに了承願う。
 ・ 本日は全員出席であり、本会については伊丹市行財政審議会規則第 6 条第 2 項の規定により会議は成立していることを報告する。

- 会長 ・ 会議録の署名について、今回は山田委員と和田委員にお願いする。
 ・ 本会議は伊丹市傍聴要領に基づき原則公開とする。

(1) 議題

①第 3 回審議会の議事概要

<事務局より資料に基づいて説明>

- 会長 ・ ご意見やご質問はあるか。

- A 委員 ・ 外郭団体への市の出資について、もし出資に見合った効果が得られていない場合は、出資を引き上げることも検討していくべきと記載されている。これは出資を見直していくべきという趣旨で発言したものであるが、出資比率を引き上げるべきと誤解を与える可能性があるので、表現を変更してもらいたい。

- 会長 ・ 表現を変更することにする。他に、一箇所句点が抜けている部分があるので修正する。他には意見なしということで次の議題に移る。

②伊丹市行財政審議会答申書（案）について

<事務局より資料に基づいて説明>

- 会長
- ・これまでの審議会において各委員より頂いたご意見等を基に答申書案の素案を作成し、これを委員の皆様事前に目を通して頂き、修正すべき点についてご意見を頂いた。頂いたご意見を踏まえ、再度取りまとめたものが本日お示ししている答申書案になる。例えば、これまでの審議会の中で今後の財政運営がかなり厳しいものになるということを経験したところであるが、危機感を持つため、「はじめに」の文章について厳しい表現に改めた。その他にも複数のご意見を頂き修正を施している。更に修正すべき点等があれば、ご意見を頂きたい。
- 会長
- ・カタカナや英文字が多用されているが、丁寧に用語の意味を説明すべきである。AIやICTについても脚注を入れるほうがよい。
- B委員
- ・公共施設マネジメントの推進、効率的・効果的な行政経営、公営企業等の経営改革、健全な財政運営の4つの取り組みが本答申の柱になるが、表現について丁寧に書かれており、わかりやすいと思う。
 - ・ライフサイクルコストについて、脚注に説明を入れたほうがよい。
- A委員
- ・RPAについて、脚注に説明を入れたほうがよい。
- 会長
- ・ご指摘頂いたカタカナや英文字の脚注での説明について、他にも説明すべきものがないか確認したうえで、追加させていただく。その際の言葉の表現については、会長一任とさせて頂き、本審議会の答申としてよいか。
- ＜承認を確認＞
- 会長
- ・承認を頂いたので、これで審議は完了した。最後に各委員より一言ずつ発言を願う。
- B委員
- ・今回は、新型コロナウイルスの影響により書面とウェブでの参加とさせて頂いたが、ウェブ環境が適切に整えられ、問題

なく審議に参加できた。また、会議資料を事前に余裕をもって送付してもらったことで、内容を吟味したうえで会議に臨むことができ、限られた回数ではあったが、非常に効率の良い密度の濃い会議となった。会長、委員各位、事務局に感謝申し上げたい。

- C委員
・内容は難しい部分もあったが、配布資料がわかりやすくまとめられており、理解したうえで審議に臨むことができた。答申についても、これまでの審議の内容を踏まえて分かりやすくまとめられており、良いと思う。
- D委員
・難しい内容も含まれているが、答申では脚注で丁寧に説明を入れるということで良かったと思う。審議会全体を通して、非常に勉強になった。
- E委員
・令和2年までの計画の振り返りや今後の計画について綿密に取り組まれており市民として感謝したい。今後も期待している。
- F委員
・審議会に参加し、貴重な経験をさせて頂いた。市のほうで先のことを見据えてきちんと考えられていることがわかり、市民としてありがたいことだと感じている。
- A委員
・市民に市の財政状況を理解してもらうことが大事である。財政状況を理解してもらわなければ、市の政策への理解も進まない。今回の答申でも、財政用語は難しいものも多いが丁寧に説明することが必要である。市民への理解を進めるという意味でも今回のように審議会の場に市民の方に参加頂くことは重要だと思う。
・今回の答申は良いものができたと思う。答申の中で個別の施策についてPDCAサイクルを謳っているが、この答申を踏まえて作成される行政計画自体がプランにあたるものになる。今後、どのように計画を実行し、評価し改善していくかが問われる。
・今後、自治体の行政経営は非常に難しい時代に入る。その中でデジタル化が不可避である。デジタル技術をどのように導

入するのか、何のために導入するのかを明確にして導入することが重要である。デジタル技術を活用し市職員がやりがいをもって働ける環境を整えなければならない。その結果、行政コストが抑えられ、市民に還元されることになる。

(2) 諸連絡（省略）

(閉会)

- 会長
- ・先ほど承認して頂いた通り、所要の修正を入れた後、私より答申書を市に提出する。
 - ・今回の答申は、財政見通しが厳しいことに加えて、公共施設マネジメントの進展や新病院の経営、新型コロナウイルスの影響など不確実な要素が多く、これまでにない危機感の強い内容となっている。市職員には、危機意識を持って知恵を絞りながら具体的な改革を進めてほしい。
 - ・全4回の審議会ではあったが、委員の皆様には会議前に個別に事務局とやり取りをするなど、かなりの時間を割いて頂き、その結果、非常に充実した審議をすることができた。また、ウェブで出席頂いた委員もいたが、会議運営に支障が出ることも全くなく良かったと思う。
 - ・これで審議会を終了する。副会長、委員はじめ関係各位におかれてはこれまでご尽力頂いたことに感謝申し上げます。

署名

第4回 伊丹市行財政審議会議事録として確認します。

委員

委員
